

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（9月）

留学先：The University of Findlay

氏名： 加藤 裕樹

【はじめに】

フィンドレー大学に来て、2か月がたとうとしています。こちらの生活にも慣れ、アメリカ人や他の国からの留学生との関わりが増えてきました。今月は、フィンドレー大学の授業を中心に報告していきます。

【Classes in UF】

M	T	W	H	F
8:00-8:50 AM Writing Review for NNSs/Lab Davis 185				
9:00-9:50 AM Writing Review for NNSs Davis 178		9:00-9:50 AM Writing Review for NNSs Davis 178		9:00-9:50 AM Writing Review for NNSs Davis 178
	9:30-10:45 AM Phonics/Foundation of Literacy Davis 195		9:30-10:45 AM Phonics/Foundation of Literacy Davis 195	
	12:30-1:45 PM Elementary Spanish I Old Main 301		12:30-1:45 PM Elementary Spanish I Old Main 301	
	2:00-3:15 PM Ethnicity Davis 188		2:00-3:15 PM Ethnicity Davis 188	
		4:00-5:00 Experiences in Japanese TLTC 003		

上の図が今学期の時間割です。今学期は5つの授業をとることにしました。その中でも3つの授業を紹介します。

まずは、Phonics という授業です。一番好きな授業です。本当は2年生以上の授業らしいのですが、昔から英語の音声学に大変興味があったので、この授業をとらせてもらえるようお願いしました。この授業は学生が全部で13人なのですが、私だけ日本人の男で、あとの12人はアメリカ人の女の子です。この授業ではディスカッションも毎時間あるので、結構つらいときもありますが、クラスの友達のを借りながらなんとかかやっています。

そして、Ethnicity という民族多様性の教育の授業をとっています。この授業もほとんどがアメリカ人で、留学生はかなりの少数派です。しかし、みんな、外国の教育や外国の文化に興味があるようで、日本の話をするととても喜んでくれます。

あとは、スペイン語のクラスをとることにしました。英語で他の言語を学ぶということをしてみたかったからです。英語とスペイン語はよく似ているので、先生が説明を省いてしまうことがよくあります。私は日本人ということで、理解できないことが多々ありますが、仲のいいアメリカ人の友達が、「ゆうき、大丈夫？分からないところない？」と声をかけてくれます。その友達のおかげで楽しくスペイン語を受けています。

この3つの授業はほとんどがアメリカ人の中で、1人だけが日本人という状況です。しかし、クラスの友達の助けを借りながら、楽しく授業を受けています。みんなの優しさや心の温かさを、日々感じています。

【日本文化紹介】

9月の最後の週に、日本文化を子どもたちに紹介するというイベントに参加しました。日本人5人とアメリカ人2人そして、中国人1人の合計8人で、よさこいを踊り、いなり寿司をふるまい、子どもたちに折り紙を教えました。子どもたちがかなり折り紙に興味を持ったようで、動物を折ったり、紙飛行機を作ってどちらが飛ぶか競争をしたりしていました。また、よさこいが、かなりアメリカ人にうけたようで、みんな携帯で動画をとっていました。日本文化を通して現地の人と関わるのは、前からやりたかったことなので、とてもいい経験になりました。



では、また来月の報告書で！